

津波から命を守るために (P. 14~P. 17)

ねらい

津波から命を守るための備えと行動について理解させる。

展開例

(防災訓練の事前・事後指導)

学習活動	指導上の留意点
1 導入 南海地震、南海トラフ巨大地震による津波被害について知る。	・南海地震は、高い確率で発生が予想されており、地震及び津波への備えと適切な行動を身につける必要があることを理解させる。
2 展開 津波への備えについて考える。 ①命を守るための適切な行動を考える。 ②日頃からの備えについて考える。 ③国や地方公共団体の取組について考える。	・津波最短到達時間内に避難行動を終えることをおさえる。 ・防災訓練等、日頃からの備えがいざという時の行動につながることをおさえる。 ・ハザードマップやその活用について理解させるとともに、高齢者等の災害時要援護者への支援対策が防災の課題であることを理解させる。
3 まとめ 津波から命を守るための備えについてまとめる。	・自分の命だけでなく、周囲の人の命を守る視点を加えて、適切な行動について考えさせる。

教科との関連

理科 (第2分野) (2) ア (イ) 地震の伝わり方と地球内部の動き
地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解すること。

参 考

- ・兵庫県 CG ハザードマップ
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>
- ・周囲の人の命を守るための実践として、「地域の一員としてできること」P. 36~37 を参照